

公表：令和 8年 2月 16日

事業所名 インフィニティJOB Style焼津

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			条例で定める1人/2.47㎡よりも広い訓練スペースになっております。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			指定基準を満たしており、加配の職員も配置しております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			基準は満たしていますし。お手洗いのバリアフリー化も出来ております。それぞれのご利用者様に合わせた合理的な配慮を工夫しております。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			「常にお子様に最善の環境を提供する」ために、職員間での共有を欠かさないようにしています。また、定期的に支援会議を実施しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			各ご家庭の保護者様に定期的にアンケート調査を行い、以降の収集に努めております。また保護者面談なども取り組んでおります。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			当事業所のインスタグラムにて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後は専門性の高い第三者に依頼を検討して参ります。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職員のスキルアップのため支援方法や安全確認、虐待防止等の研修を定期的に行っています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童発達支援管理責任者を中心に指導員を含む全職員でアセスメントを行い、保護者様やお子様の真のニーズをしっかりと見極め、支援計画に反映しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			HUGシステムやLINEWorksを使用し、職員が同時に共有でき、また細やかな意見交換をすることで、偏った評価にならないように努めております。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			プログラム策定会議を定期的に行い、専門家や職員が発案したプログラムを用い、適切な療育方法を検討し活動プログラムを作成しております。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			常に新しい情報を仕入れるように心がけており、お子様の成長や改善を導くことができるよう、常にプログラムの刷新を心がけています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			課題立案会議を行い、状況に応じた支援をしております。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動が苦手なお子様でも自ら参加できるよう集団プログラムを策定し、参加を促しております。また参加が難しいお子様にも個別プログラムを提供しております。

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		業務開始前に本日までご利用のお子様の支援把握や前回はご利用までの状況を考慮して、各プログラムの構成、役割分担と観察や支援の注意点まで、細かな確認を行なっています。
---	---	---	--	---

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			当日のお子様の状況や様子を職員全員で確認共有し、翌日の支援につなげています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録をしっかりと記入する時間を設けて、それぞれのお子様の状況や様子を記録表に記入することを徹底しています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			日々のコミュニケーション、毎日のミーティング、各ご家庭とのHUGシステム上の連絡や電話連絡等のやりとりも計画の更新に活かすようにしています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			様々なカリキュラムを通じて経験や体験を積み、成功体験をしていただくことで、コミュニケーションや生活力の向上、そして自立へとなるよう努めています。
関係機関や保護者との連携関係や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者や利用者様に精通して職員が参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			お子様それぞれの学校との情報共有に努め、保護者様との連絡も密に取れるような関係性作りを心がけており、不明点やトラブルについても、すぐに調整を行えるようにしております。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療的ケアが必要なお子様が利用される場合は主治医などと即時対応可能な連絡体制や人員を整えたいと思っております。※現在、医療的ケアが必要な利用者様がおられません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		小学校入学と同時に利用開始された事例はありませんが、今後は必要に応じて適宜行なって参ります。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			障害福祉サービス事業所への情報は、保護者様の意向があれば可能です。また就労準備プログラムの用意がございます。得意分野や課題点等を共有し、系列の就労継続支援B型事業所などに体験などを行うことにより、卒業後グループに移行できるような体制が
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			支援センターが主催する研修に参加しています。今後も、積極的な研修の受講を進めます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			児童館など交流の場には多く出かけるようにしており、さらに機会を増やせるように努めます。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			地域の放課後連絡会や交流会には参加するよう心がけております。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			利用者様の課題や状況を日頃から保護者様とコミュニケーションを図る中で情報を共有するよう心がけております。また、HUGシステム上の機能を使い、スマートフォンから日々の記録や連絡を行なってお
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		どちらとも言えませんが、相談を受けた際には個別に対応させていただきます。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に十分な時間をとり、丁寧な説明を行うことを心がけています。また、不明な点等はその場でお答えしています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時にはゆっくり時間が取れないこともあるので、保護者様と個別の電話やメッセージでの連絡を丁寧に行い、傾聴姿勢を心がけ、時間をかけてじっくりと助言するようにしております。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			定期的なイベントを開催し、保護者様にも参加いただけるような促進をしております。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談、申し入れ、苦情があった場合には、迅速かつ誠実に対応・解決するよう努めています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			HUGシステム上における毎日の記録の中で、活動の様子や行事など、お子様の様子がわかる写真と共に、日々ご報告しています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			職員に個人情報の取り扱いについての研修や指導を行っております。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			絵カードや時間スケジュール掲示などを使用し、視覚支援を行うなど、特性に応じた配慮をしています。また、保護者様とは、電話やメールなどでリアルタイムで意思疎通ができるように努めています。
非常時等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		今年度より地域のイベントに参加することで、地域の方への周知と交流を図っています。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			緊急時対応マニュアル・感染症対応マニュアルを策定し、全職員で共有しています。また定期的に知識・技術の向上を目的とした職員研修を実施しております。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年一回以上の避難訓練を実施しています。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止について、県が実施する研修へ定期的に参加しています。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約書の中で保護者様にご説明しています。今後も身体拘束を行うことがないよう、職員へ周知・研修を行なっています。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			契約時にアレルギーの有無と対応方法について保護者様へのヒアリングで確認しております。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			万が一ヒヤリハット事例が発生してしまった場合には、原因と経緯、対処すべきこと、改善すべきことを報告書に起こし、全職員に共有して、同じことが起こることのないよう努めております。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

|